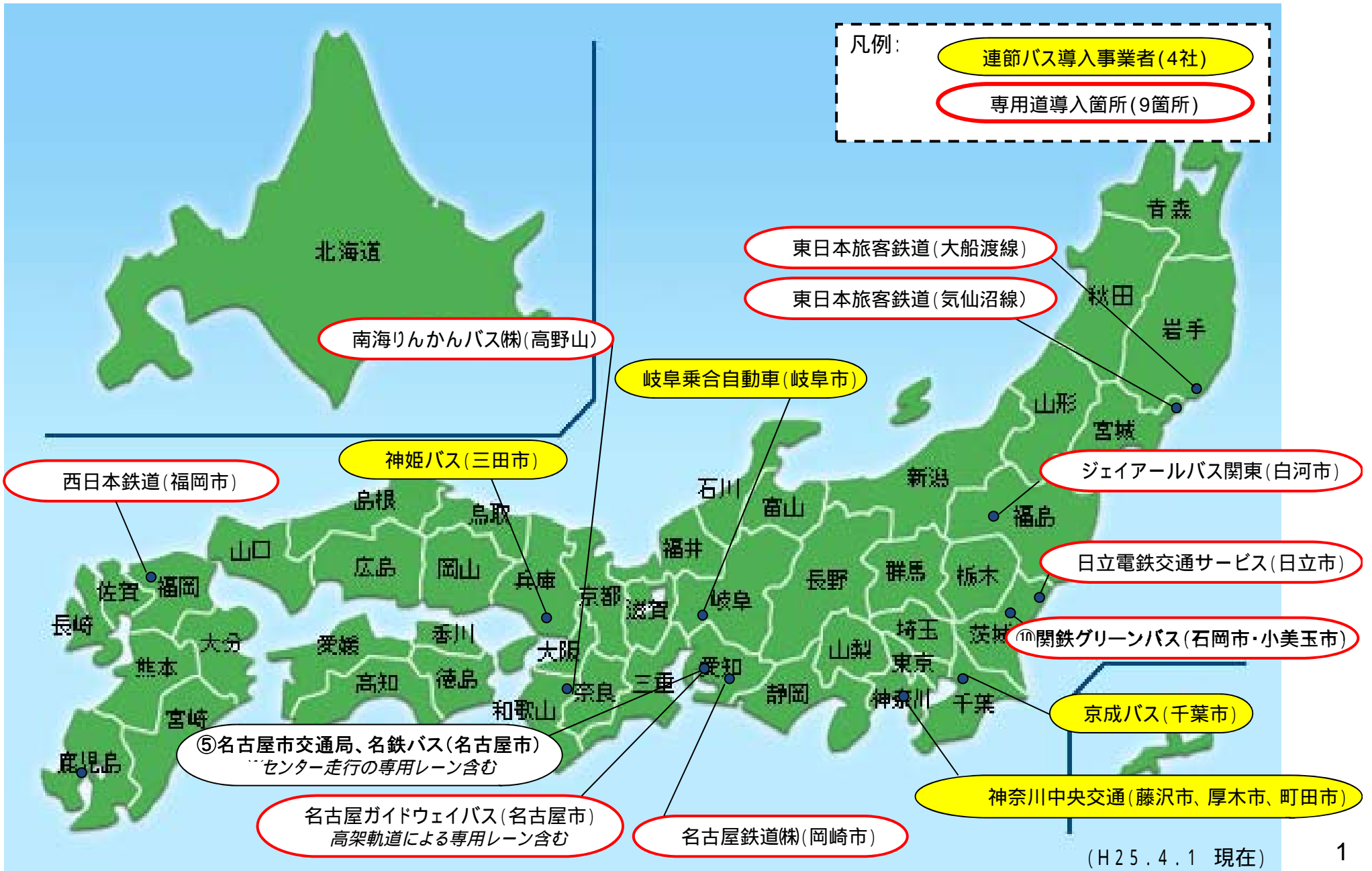


# BRTの取り組み状況及び支援制度

---

# BRTの全国分布状況



# BRT導入事例の一覧

番号	事業者名 【タイプ】	運行区間	運行開始時期	備考
	南海りんかんバス(株) 【専用道】	和歌山県高野村 (高野山駅～女人堂)	昭和23年6月10日 (専用道供用開始)	【バス専用自動車道】
	ジェイアールバス関東(株) 【専用道】	福島県白河市 (三森 - 表郷役場前 - 磐城金山 - 関辺)	昭和32年4月26日 (専用道供用開始)	【バス専用自動車道】国鉄白棚線の線路敷きにバス専用道を整備
	名古屋鉄道(株) 【専用道】	愛知県岡崎市 (岡崎駅前 - 福岡町)	昭和38年1月20日 (専用道供用開始)	【バス専用自動車道】名鉄岡崎市内線の廃線敷にバス専用道を整備
	西日本鉄道(株) 【専用道】	福岡県福岡市 (馬出～箱崎)	昭和50年11月2日 (専用道供用開始)	【バス専用自動車道】西鉄福岡市内線の廃線敷にバス専用道を整備
	名古屋市交通局、名鉄バス(株) 【基幹バス】	愛知県名古屋市 (引山～大津通<南交差点>)	昭和60年4月30日	【バス専用レーン】カラー舗装によって一般車線と区分されたバスレーンを走行。朝7～9時・夕17～19時(その他の時間帯は優先レーン)
	名古屋ガイドウェイバス(株) 【高架軌道】	愛知県名古屋市 (大曽根～小幡緑地)	平成13年3月23日	【高架軌道】高架軌道区間は軌道法の適用。大曽根～小幡緑地間の所要時間が32分から13分に短縮
	神奈川中央交通(株) 【連節バス】	神奈川県藤沢市 (小田急湘南台駅～慶応大学)	平成17年3月14日	【連節バス】4台 【その他】PTPSの導入
	神奈川中央交通(株) 【連節バス】	神奈川県厚木市 (厚木バスセンター～厚木アクスト)	平成20年2月4日	【連節バス】4台 【その他】PTPSの導入、車内に鉄道の乗継情報ディスプレイを設置
	京成バス(株) 【連節バス】	千葉県千葉市 (幕張本郷駅～海浜幕張駅)	平成22年2月19日	【連節バス】10台 【その他】車内に鉄道の乗継情報ディスプレイを設置、バスロケーションシステム、交差点への右折矢印信号設置
	関鉄グリーンバス(株) 【専用道】	茨城県石岡市・小美玉市 (石岡-高下～四箇村駅)	平成22年8月30日	【バス専用道】鹿島鉄道の廃線敷きにバス専用道を整備 全体計画は石岡駅～小川駅
	岐阜乗合自動車(株) 【連節バス】	岐阜県岐阜市 (岐阜駅～岐阜大学・岐阜大学病院)	平成23年3月27日	【連節バス】2台 【その他】バスレーン
	神奈川中央交通(株) 【連節バス】	東京都町田市 (町田バスセンター～山崎団地センター)	平成24年5月28日	【連節バス】4台 【その他】車内に鉄道の乗継情報ディスプレイを設置

# BRT導入事例の一覧

番号	事業者名 【タイプ】	運行区間	運行開始時期	備考
	東日本旅客鉄道(株) 【専用道】	【気仙沼線】宮城県気仙沼市 (柳津～気仙沼)	平成24年12月22日	JR気仙沼線不通区間の仮復旧 【バス専用道】約5.5kmのうち1.6km(平成25年5月末現在)
	東日本旅客鉄道(株) 【専用道】	【大船渡線】宮城県気仙沼市 (気仙沼～盛)	平成25年3月2日	JR大船渡線不通区間の仮復旧 【バス専用道】43.7kmのうち3.2km(平成25年5月末現在) (大船渡～盛間及び小友駅前)
	日立電鉄交通サービス 【専用道】	茨城県日立市 (日立おさかなセンター～大甕駅)	平成25年3月25日	【バス専用道】2台 うち専用道区間は約1.3km
	神姫バス(株) 【連節バス】	兵庫県三田市 (三田駅・新三田駅～関西学院大学等)	平成25年4月1日	【連節バス】2台 【その他】ICカードシステム

全国各地でBRTの導入に向けた取り組みがなされているが、バス専用走行路の確保やPTPSの導入など、様々な取り組みが行われている。

本資料は、事業中・計画構想について示したものである。

## 計画段階

(BRT)

計画都市	計画概要	現在の検討状況
気仙沼線	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災で被災したJR気仙沼線について、鉄道の復旧にいたるまでには時間を要することから、BRTによる仮復旧を実施。</li> <li>BRTによる仮復旧の対象となる区間は気仙沼－柳津間の55.3km。このうち約6割を専用道化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年8月に暫定サービスを開始し、12月には本格運行を開始した。</li> <li>現在は、約7kmが専用道として供用済。</li> </ul>
大船渡線	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災で被災したJR大船渡線について、鉄道の復旧にいたるまでには時間を要することから、BRTによる仮復旧を実施。</li> <li>BRTによる仮復旧の対象となる区間は気仙沼－盛間の約44km。このうち、当面約3割を専用道化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年3月に、本格運行を開始した。</li> <li>現在は、約3kmが専用道として供用済。</li> </ul>
日立市	<p>[日立市BRT導入計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日立電鉄跡地の旧久慈浜駅～旧鮎川駅(約8.5km)間にBRTを導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度に跡地利用の検討開始、日立電鉄線跡地活用整備基本構想策定委員会の設置、日立電鉄線跡地活用整備基本構想策定</li> <li>平成22年度に日立電鉄線跡地新交通導入計画検討委員会の設置、日立電鉄線跡地新交通導入計画策定</li> <li>平成23年度に第 期計画区間(旧久慈浜駅～大甕駅南(L=1.3km))工事着手</li> <li>第 期計画区間の運行計画の検討</li> <li>平成24年度に新交通の利用促進活動の展開</li> </ul>
相模原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の混雑緩和、麻溝台・新磯野地区への交通アクセス確保とまちづくり支援などの観点から、「相模大野駅から原当麻駅」(約8km)を検討区間として検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度に「新しい交通システムの取り組みに係る地域説明会」を実施</li> <li>平成24、25年度に新しい交通システム導入委員会を開催し、ルートや幅員、システム等を検討予定</li> </ul>
新潟市	<p>[新たな交通システム導入検討]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市全体として快適に移動できる交通環境の実現を目指し、都心部の主要拠点間を連絡する基幹公共交通軸において新たな交通システム(BRT、LRT、小型モノレール)を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度に、新潟市都市・地域総合通戦略(にいがた交通戦略プラン)を策定</li> <li>平成22年度に、新たな交通システム導入検討委員会(学識経験者、交通事業者、行政機関、関係団体、市民等)を設置</li> <li>平成23年度は、検討委員会の提言(当面はBRTの早期導入を目指す)を受けて、「新たな交通システム導入基本方針」を公表</li> <li>平成24年度に新たな交通システム導入に向けた技術、関連施設等に関する企画提案作成、新潟市BRT第1期導入区間運行事業者審査委員会を設置</li> <li>平成25年度に、新潟交通と運行事業者基本協定を締結</li> </ul>